

## 家族の（ご本人への）接し方、コミュニケーションの仕方

（アメリカ・アルツハイマー協会の介護家族への情報から引用）

- 耳を傾け、何を言おうとしているかを理解しようと努めていることを示す。
- 目を見て話す。（Eye Contact を維持する）
- 例えば、困難でも考えていることを表現しようとしていることを励ます。
- 遮らないように注意する。
- 批判・訂正・議論は避ける。
- 静かに支持的である。
- 声の調子は、やさしく、リラックスして。
- 肯定的で、好意的な表情で。
- 常に正面から近づき、名乗り、名前で話しかける。
- ゆっくりと、はっきりと話す。
- 短い、単純な、くだけた言葉を使う。
- 仕事や指示は、はっきりした単純なステップに分ける。
- 一度に、一つの質問をする。
- 反応（返事）まで、十分な時間をかける。（返事をゆっくり待つ）
- 代名詞を避けて、名前を使う。
- 否定的な言葉やクイズ形式を使うことを避ける。
- 指さしたり、触ったりといった非言語的コミュニケーションを使う。
- 必要に応じて援助する。

このように忍耐と寛容の精神で、病気や本人の気持ちを理解して柔軟に対応することが大切です。

